



令和元年 9 月 25 日

広島大学「地域の元気応援プロジェクト」 採択プロジェクトを決定しました

広島大学は、今年度から「広島大学の元気応援プロジェクト」をスタートしました。本プロジェクトは、学生・教員・地域団体の3者でチームを組んで、地域から提案があった地域課題の解決や地域活性化をめざす取り組みを、広島大学が支援するものです。

(助成額は、原則 30 万円まで、最高限度 50 万円 採択は 8 件以内)

3 者の出会いの場となるマッチングイベントを 8 月 9 日と 30 日の 2 回開催し、地域から 15 件の活動テーマのプレゼンテーションをいただきました。

マッチングイベントの効果もあり、このたびの地域の元気応援プロジェクトには 11 件の応募があり、8 件の採択が決定しました。

採択事業の概要は以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/ccc2/genki2019>

「広島大学公式ウェブサイト」→「地域・産学連携」→
「地域連携」→「繋ぐ」→「令和元年度」

採択を受けた事業は、10月から来年2月までの5カ月間活動し、3月にプロジェクト報告会で活動報告をしていただく予定です。

【お問い合わせ先】

社会産学連携室社会産学連携グループ 三戸

Tel : 082-424-5871

E-mail : sangaku-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数 : A4版 12枚 (本票含む)

令和元年度広島大学「地域の元気応援プロジェクト」
採択プロジェクト一覧

項番	テーマ	地域団体名	教員	
1	Sandankyo Nature Trail Project ～三段峡自然散策道プロジェクト (安芸太田町)	NPO 法人三段峡一太 田川流域研究会	統合生命科 学研究科 教授	中坪孝之
2	中山間地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を作ろう (東広島市志和町志和堀)	つくれば工房	統合生命科 学研究科 准教授	彦坂 暁
3	久比地区の水利用等住環境に関するサステナビリティの確立のための広島大学の瀬戸内拠点造り (呉市豊町～大崎下島久比地区)	一般社団法人まめな	総合科学研究科 教授	小野寺真一
4	学生ワークショップによる公共空間利活用の提案と実践 (呉市中通2丁目)	NPO 法人 SYL	工学研究科 教授	田中貴宏
5	音戸の瀬戸周辺地域の散策マップ作成とマップを活用にした地域づくり提案 (呉市音戸町)	NPO 法人地域力で里山を再生する会	工学研究科 教授	田中貴宏
6	音戸ドリームアイランドカレッジフィールド (呉市音戸町)	NPO法人アースキュー ーブジャパン	総合科学部 国際共創学 科 講師	張 慶在
7	楽しゅう 飲みん茶い (三原市大和町～黒谷地区)	まほろばくろたに	文学研究科 准教授	伊藤奈保子
8	レモンの島瀬戸田、地域と環境にやさしく共生する島づくり(レモンのある暮らしーレモンを生活の中に豊かに生かすー) (尾道市瀬戸田町)	せとだレモン祭実行委 員会	教育学研究科 准教授	富永美穂子

令和元年度 広島大学「地域の元気応援プロジェクト」採択プロジェクト一覧

項番	テーマ	地域団体名		教員	地域団体の概要
1	Sandankyo Nature Trail Project	特例認定NPO法人三段峡－太田川流域研究会(さんけん)	本プロジェクトは 特例認定NPO法人「三段峡－太田川流域研究会(さんけん)」と中坪孝之教授(統合生命科学研究科)およびそのゼミ生の三者が共同で行うもので、「三段峡野外博物館構想」の一環として、三段峡を自然や伝統文化を体験し学ぶことができるネイチャートレイル(自然散策道)として位置付けている。本プロジェクトでは、これまで積極的に対象とされてこなかった外国人観光客をメインターゲットとしており、適切な情報発信や環境整備、三段峡の豊かな自然と伝統文化の価値の発信や体験機会の提供を行う。 具体的には外国人観光客の利用しやすいように情報を整理したガイドブックの作成・配布に加えて、エコツアーを企画・実行する。これらの情報媒体や機会提供によって三段峡へのアクセスのハードルを下げるるとともに、知名度の向上と都市部からの外国人観光客数の増加を目指す。また、地域住民にも三段峡の価値を再認識してもらい、持続的な地域発展に繋がる新たな中山間地域と都市部の共存関係モデルの構築を試みる。	統合生命科学研究科 中坪 孝之	私たちの暮らす広島県太田川の流域が、生物多様性と美しさが保たれる持続可能な社会を築くために、三段峡を中心とした活動フィールドを野外博物館と捉え、これからの自然と人の関わり方を考え場にします。フィールドの自然や歴史を調べ、伝え、100年先へこの環境を守る取り組みをミッションとしています。
2	中山間地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を創ろう	つくれば工房	志和堀の古民家図書室ほたる荘と、併設するものづくりスペースつくれば工房は、広大の学生、教職員、OBが中心となって開設・運営され、地域内外の様々な来訪者の交流の場となってきた。本プロジェクトは、ここをハブとして地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を創ることを目指す。そのために(1)IT/IoT技術を実践的に学べる環境の整備、(2)サイエンス&テクノロジー・ワークショップの開催、(3)子どもたちが集える/遊べる/学べるスペースづくり、(4)プロジェクトの活動の広報、を行う。学生・教員は、IT/IoT技術面の支援、ワークショップの企画と講師、リノベーション支援、広報活動支援、などを行う。このプロジェクトを通して、志和に子どもがいそいそと遊び/学べる子育てがしやすい環境、すべての世代が自主的に学び成長できる環境を整えることを目指す。	統合生命科学研究科 彦坂 暁	ものづくりを志向する人たちが集い、道具やノウハウを共有する場を自主運営することを目指す。活動拠点は2011年呉市で発足。2013年広島市に移転。2018年東広島市志和町志和堀 ほたる荘内内に移転。この間「つくればFaire」主催。
3	久比地区の水利用等住環境に関するサステナビリティの確立のための広島大学の瀬戸内拠点づくり	一般社団法人まめな	瀬戸内海の大崎下島久比地区の水資源、井戸水の研究を皮切りに広島大学の学生が久比に集いやすい環境を整備し、これからの未来の地域の形住環境に関する持続可能なあり方のモデルケースを世界に発信する。	総合科学研究科 小野寺 真一	久比に1)相互扶助コミュニティの創出、2)未来農業の探求・実践、3)前記のテーマをサポートするテクノロジー開発を通して「介護のない世界」の実現を目指し、さらにこれからのライフスタイルを提案実践していきます。参加人数:25名(2019. 8現在)
4	学生ワークショップによる公共空間利活用の提案と実践	NPO法人SYL	呉市の中通2丁目は、老舗と新しい店舗がバランスよく共生するエリアで、古くより新規創業に人気の地区である。しかし現在は、様々な地域課題が顕在化しつつあり、これらに対して、当該エリアでは、地区住民の合意を形成しつつ、様々なイベントを開催するなど、自助努力を重ねてきた。このような状況を受け、本年度は、呉市と連携し、公共空間の利活用による、持続可能な賑わい創出の形を探る、実証実験が行われている。 そこで、本プロジェクトでは、学生が中心となり、ワークショップを開催し、賑わい創出のためのアイデア(ハード、ソフト)の整理と提案を行う。また、前述の実証実験にあわせて、そのアイデアを中通2丁目で実際に実践することにより、その効果の評価までを行うことを目的とする。なお、提案責任者の研究室では、これまでも地域で学生ワークショップを行い、まちづくり提案・実践を行ってきた経験があり、今回もそのノウハウを活用する。	工学研究科 田中 貴宏	「古きを生かし、未来を紡ぐ」を理念に、呉市中央地区に特化したまちづくりに関する事業を行うNPO法人SYL(エスワイエル)は、デザイナー、大工、料理人など、職業の枠を超えた11人で構成されており、主たる事業として、にぎわい創出、公共空間の利活用提案を目的としたイベント催事を実施しています。また民間主体による創業支援にも鋭意取り組み中。
5	音戸の瀬戸周辺地域の散策マップ作成とマップを活用にした地域づくり提案	特定非営利活動法人地域力で里山を再生する会	音戸の瀬戸周辺地域は、歴史的な資源を有するとともに、近年では、新たな地域資源も整備され、また、新しくこの地で活動を始めたアーティスト等も増え始めている。このような社会的背景から、地域雑誌でも紹介され、観光客も増えつつある。しかし、既存の散策マップには、近年の状況が反映されていない。 そこで本プロジェクトでは、学生が中心となり、地域の人々と連携し、新たな地域資源発掘を行いつつ、令和版の散策マップを作成することを目的とする。なお、この散策マップは、紙媒体で作成すると同時に、デジタル版も作成することとする。また、マップ作成後は、そのマップを活用し、地域づくり提案を作成することとする。なお、提案責任者の研究室では、これまでも地域の資源マップを作成した経験があり、今回もそのノウハウを活用する。	工学研究科 田中 貴宏	この法人は、荒廃した農地や山林および河川を、昔ながらの「環境にやさしい循環型の里山」に戻す活動を通して、農業が育んできた循環型社会の大切さを再認識し、更なる地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。また、持続可能な営みを再構築し子供たちの郷土愛を育み、地域住民の自己肯定感を上げることで、外部から見ても魅力あふれるコミュニティ作りができるよう活動することを目的とする。

6	音戸ドリームアイランドカレッジフィールド	NPO法人アースキューブジャパン	音戸ドリームアイランドカレッジフィールドは、海外や全国からクリエイターが訪れ、夢を具現化する地域人材を育成と、地域の住民の方と交流する事で、現場で気づきを得て、島の魅力を発見し世界に発信したり、課題を解決する若手人材を育成する。	総合科学部国際共創学科	張 慶在	この法人は、未来の子どもたちに残したい地域づくりのためにナリワイ作りやゲストハウスを日本に広めることを通し、地域で豊かに暮らすモデルケースの創出を目的としています。ゲストハウス開業合宿やナリワイ作り合宿を全国で展開し、夢をかなえる120人を超える拠点が全国に広がっています。また、行政と連携して若手の人材育成や地域活性化のアドバイスも行っています。
7	楽しゅう 飲みん茶い	まほろばくろたに	三原市黒谷は、江戸時代、浅野藩へ献上した茶を栽培していた名産地である。一度途絶えた栽培を平成24年から有志で復活させた。年々作付け面積も増え、最近ではワークショップなどで「煎茶の手もみ体験」も開催している。この広島の煎茶をより多くの方々に、楽しんでいただくために広島の工芸品でお茶を楽しく頂く空間を演出することを企画した。即ち三原のたるまを容器とし、茶さじは戸河内割物、菓子入れを戸河内挽物、湯飲みと急須はお砂焼、テーブルセンターは備後緋、お盆と茶たくは宮島細工、円座は備後蘭草、お菓子はもみじ饅頭。それらを丈夫な尾道帆布(尾道柿渋)のバッグに入れて一式で販売を行う。個別販売も可能する。まずは5月、①三原のたるまの茶入れ制作、②手もみ煎茶の2つの体験を企画した。「楽しゅう飲みん茶い」の第一弾である。	文学研究科	伊藤 奈保子	黒谷地域における伝統文化・産業・史跡等を掘り起こし、環境整備等により、地域のよさを再認識するとともに、他地域との交流を深め、地域の活性化を図る。これまで手もみ煎茶づくり、ホテル観察会、浅野永清公を偲ぶ灯りまつり等を行ってきた。今年度は新たに地域の自然や歴史を生かした里山ウォーキングの実施に向けて準備を進めている。平成24年設立 構成員15名 賛助会員数名
8	レモンの島瀬戸田, 地域と環境にやさしく共生する島づくり (レモンのある暮らし -レモンを生活の中に豊かに生かす-)	せとだレモン祭実行委員会	レモン生産量日本一で国産レモン発祥の地である尾道市生口島瀬戸田町は広島県内外においてあまり知られてはおらず、地域住民においてもレモンをはじめとし、瀬戸田町のアピールポイントに気がついていない人が多い。そこで、地域住民の気づかない瀬戸田町の素晴らしさを、県外者を含めた若い世代とともにとらえ、発信し、活性化につなげていく方法を日本一の生産量を誇るレモンを核に検討する。	教育学研究科	富永 美穂子	レモン生産量日本一で、国産レモン発祥の地である、尾道市生口島瀬戸田町が一般的にはあまり知られておらず、市外県外の人に、もっとPRしていこうという思いから、せとだレモン祭が始まった。せとだレモン祭では、レモンを使った競技やレモンに関する飲食・物販・音楽などを実施。第3回せとだレモン祭の来場者数は、15,000人だった。



Sandankyo Nature Trail Project

広島大学大学院 統合生命科学研究科 中坪研究室

共同団体：特例認定NPO法人 三段峡—太田川流域研究会（さんけん）

目的

- ①三段峡及び周辺地域の活性化・物見遊山から**学びと体験の場へ**（三段峡野外博物館構想）
- ②アクセス環境の整備と、豊かな自然と伝統文化のアピールによる**外国人観光客の増加**

① 外国人観光客に向けた情報の発信

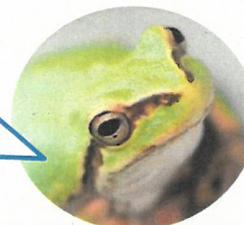
適切な情報提供（装備・交通手段・施設利用 etc.）
→ 外国人観光客のアクセスを容易に！

② 自然観察ガイドブックの作成

三段峡ならではの見どころに加え、歴史や文化的背景を紹介
→ 体験と学びの場へ！

③ エコツアーの作成・実施

さんけんと共に外国人観光客を対象としたエコツアーを実施
→ さらなる魅力の発信 & 地域住民の参画



将来の展望

- ・自然観察ガイドブックの一般配布
 - ・エコツアープログラムの持続的な運用
 - ・成果物と作成過程のデータベース化
- 外国人観光客の増加 都市部から山間地域への人・モノの流れを創出
地域の活性化 地域住民参画型の環境に配慮したエコツアー
多様なニーズに合わせた情報提供や新規のツアープログラム作成



中山間地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を作ろう



ほたる荘/つくれば工房の活動 × 地域の元気応援プロジェクト → 学びの拠点を作り、活用する

- 広大関係者が設立・運営に関わってきた
古民家リノベーション、蔵リノベーション、
図書室、遊び場、ワークショップ etc.
- ものづくりを楽しむ場
3Dプリンタ、ペーパーカッター、電子工作、
プログラミング、木工、機織り etc.
- 多様な人たちの交流の場
スタッフ、地元の人、U/Iターンの移住者、
地域外からの来訪者、子供と親、シニア、
学生、不登校児、マニアックな人たち etc.

- IT/IoTを実践的に学ぶ環境の整備
Wi-Fi設備の設置、Webサイトの開設、
IT/IoT技術を用いた学ぶ素材の開発
- 作ることで学ぶ:ワークショップの開催
子供も含む全世代向けものづくりWS
- 子供が集い/遊び/学べる空間作り
ほたる荘にマンガ/絵本図書室を設置
- 活動を広報し仲間を増やす
SNSに加え、様々な手段を用いた広報

- 学びの活動の継続
日常的なものづくり活動、WS等のイベント
- 志和の魅力を発信し、人を呼び込む
子育て環境の整備、志和のアピール、
関係人口の増加、移住者の呼び込み
- 学生の学びの場、大学の社会貢献の場
学生が地域の人たちと共に活動し、学び、
成長できる場として活用
ものづくりを通して子供たちの理系離れに
歯止めをかける場としても活用

久比地区の水利用に関するサステナビリティの確立

大崎下島
久比



2019年3月一般社団法人設立
「じぶんたちの暮らしを手にとり戻す」
をテーマにまめなプロジェクト進行中



step1
産学連携で久比に点在している、現在は使われていない井戸の水質分析・水脈を調査

step2
集落の井戸・湧き水を改善、
生物多様性豊かな久比の実現

step4
豪雨・地震など緊急災害時の代替水資源として井戸を活用

step3
子供が安心して遊べ、蛍が育つ川の整備

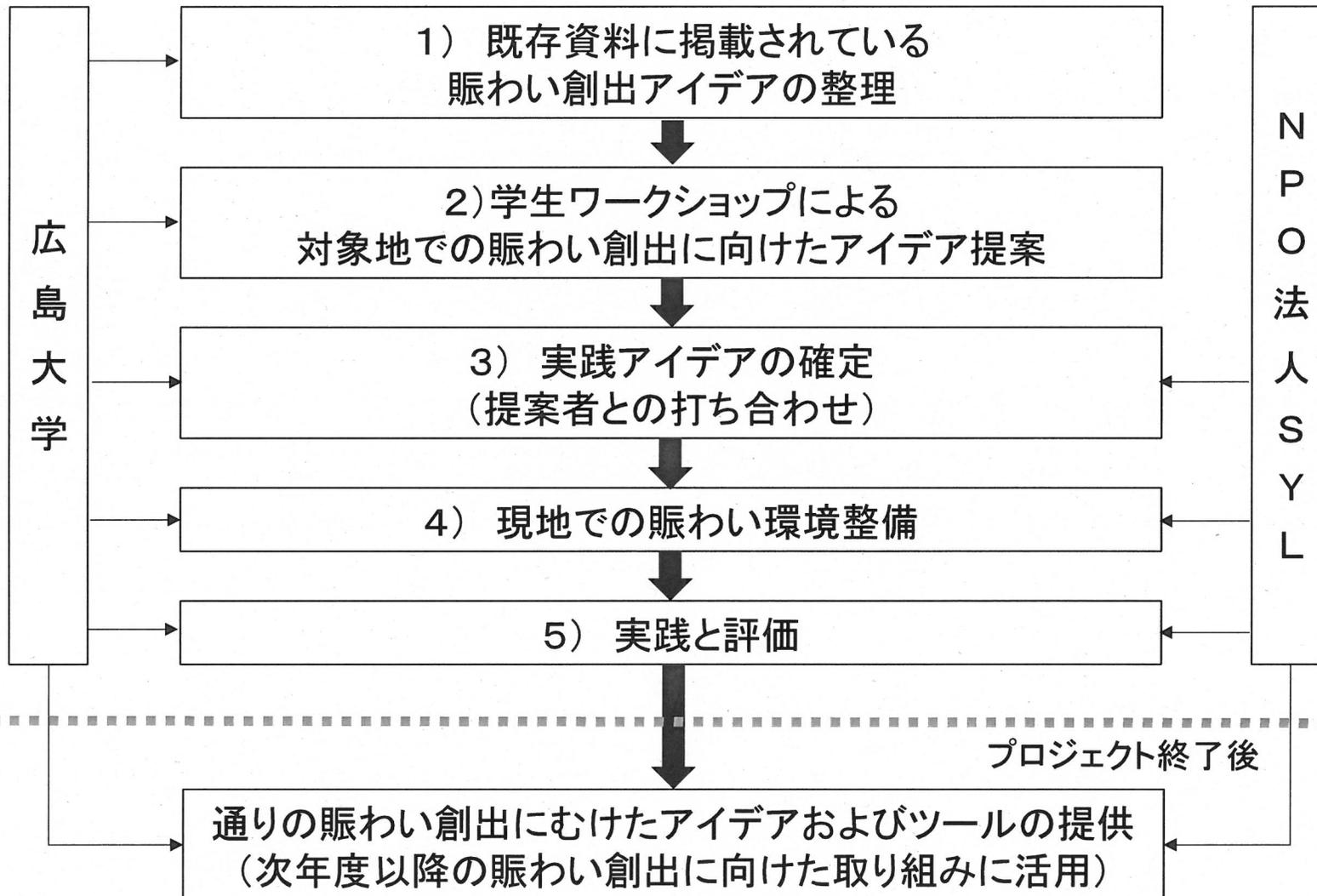
step5
世界中の環境意識の高い人が久比を訪れ滞在し久比に関わる

Step6
久比に広島大学の学生と地域がつながる持続可能な社会の在り方について研究する拠点をつくる

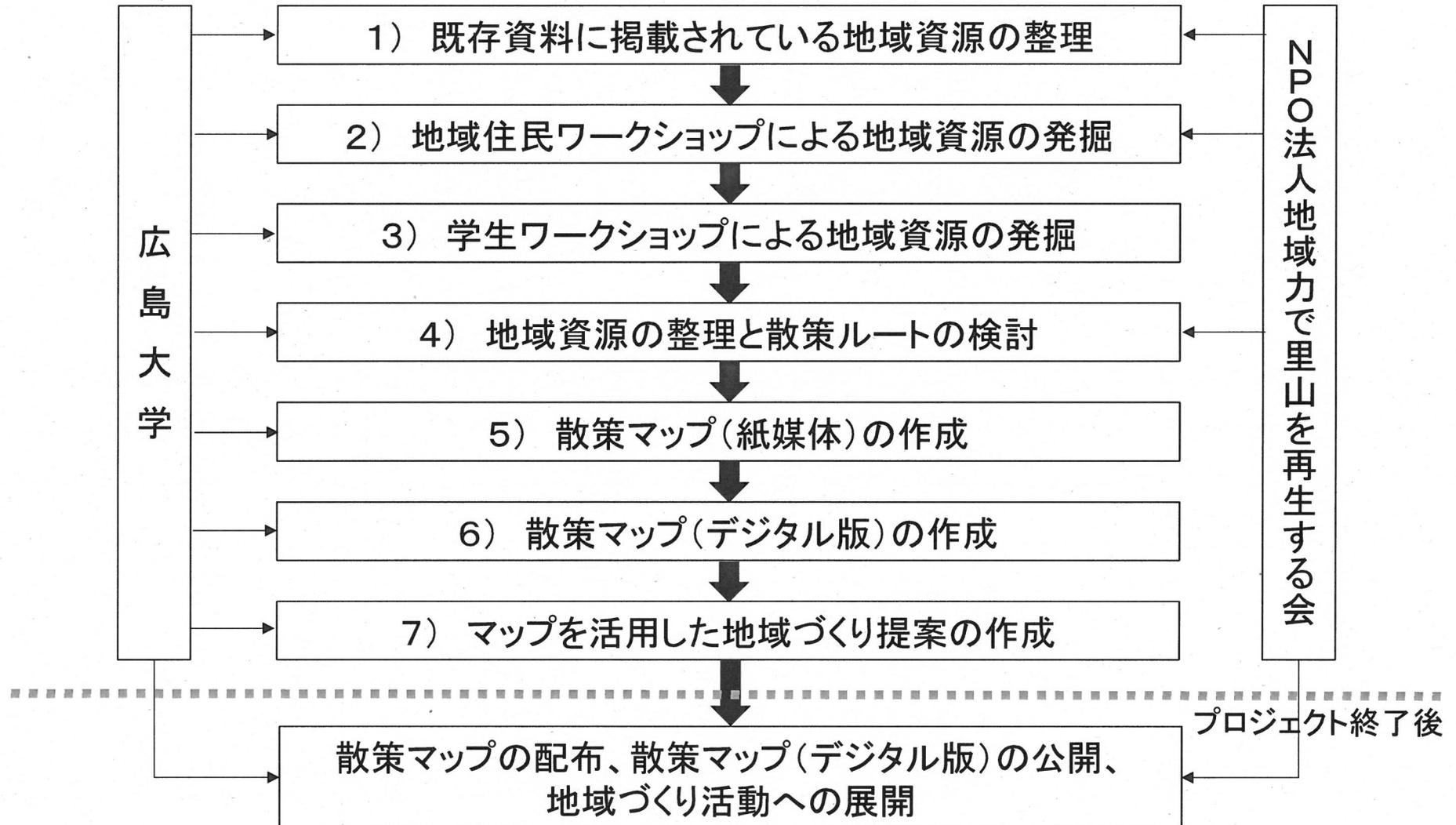


SDGsの
NO.1.6.15
に適合

学生ワークショップによる 公共空間利活用の提案と実践



音戸の瀬戸周辺地域の散策マップ作成と マップを活用にした地域づくり提案



令和元年度広島大学「地域の元気応援プロジェクト」

By NPO法人 アースキューブジャパン

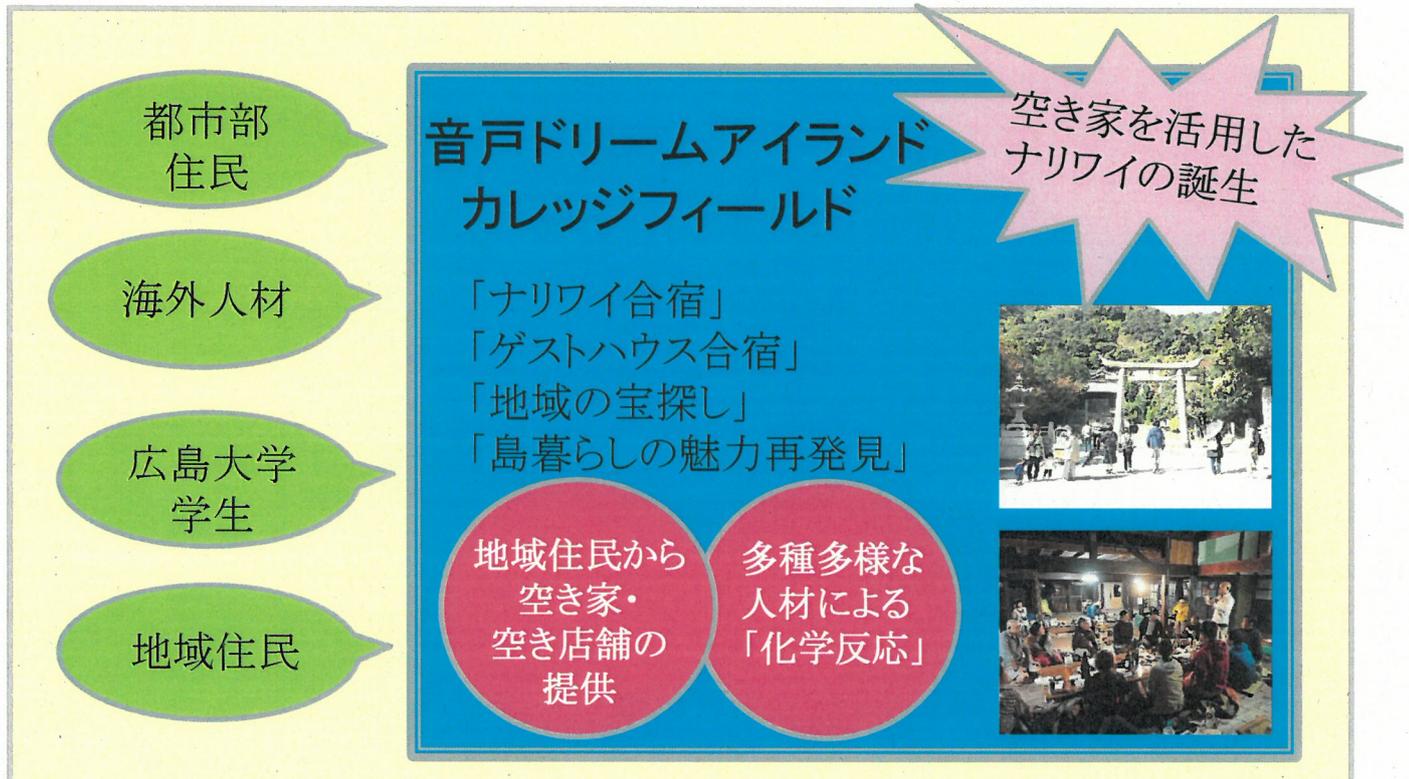
◆提案テーマ

『日本初!! 夢をかなえる島の学校「音戸ドリームアイランドカレッジフィールド」の立ち上げ』
世界からクリエイターなどが集まり「ドリームアイランドカレッジフィールド」を世界に発信することで、
夢を具現化できる次世代人材と、島の課題や問題を解決する若手人材を育成する

◆課題

島には、魅力的な資源がたくさんある一方で、それを生かせる若手のプレーヤーが不足している。また、豪雨災害からの復興も急務。

◆内容



◆活動による効果

- ・夢を具現化する方法の修得
- ・夢をかなえる拠点づくり
- ・自分たちの理想のまちは自分でつくる学び
- ・若者の自己肯定感の醸成
- ・ワクワクした暮らしを支える生業の創出
- ・交流人口の増加
- ・空家・空き店舗の利活用
- ・観光客の増加
- ・若者の想いを具現化し、世界に島の魅力を発信

「楽しゅう
飲みん茶い」

まほろば黒谷
(三原市大和町下草井)

- ・手もみ煎茶の体験
- ・三原のだるま
オリジナル茶入れ制作

「鷹の爪」江戸時代浅野藩に献上した銘茶
広島伝統工芸で楽しむ煎茶の時間

・茶樹園整備・手もみ煎茶技術習得

献上茶復活・お茶を彩る広島工芸



- ・浅野藩子孫の会との交流も！
- ・三原だるま茶入れ・もみじ饅頭

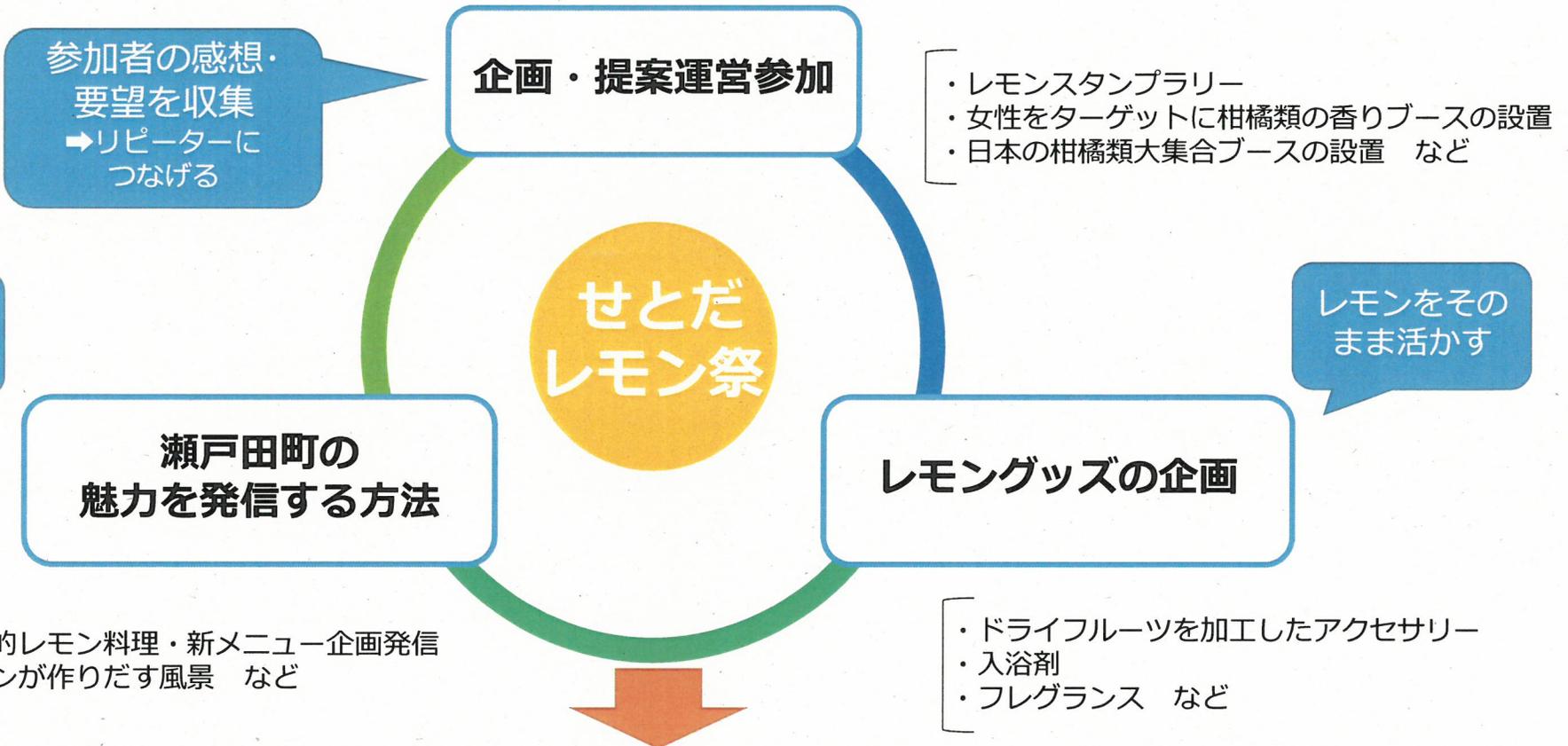
— 続々登場 —

備後豊表円座・お砂焼き茶器

戸河内挽物菓子入・宮島細工茶たく

戸河内剝物茶さじ・尾道帆布袋 ほか

レモン生産量日本一の島 生口島(瀬戸田町) ～地域と環境にやさしく共生する島づくり～



【島民との連携】 【新たな資源の発見】 【にぎわい創出】 につなげる！